

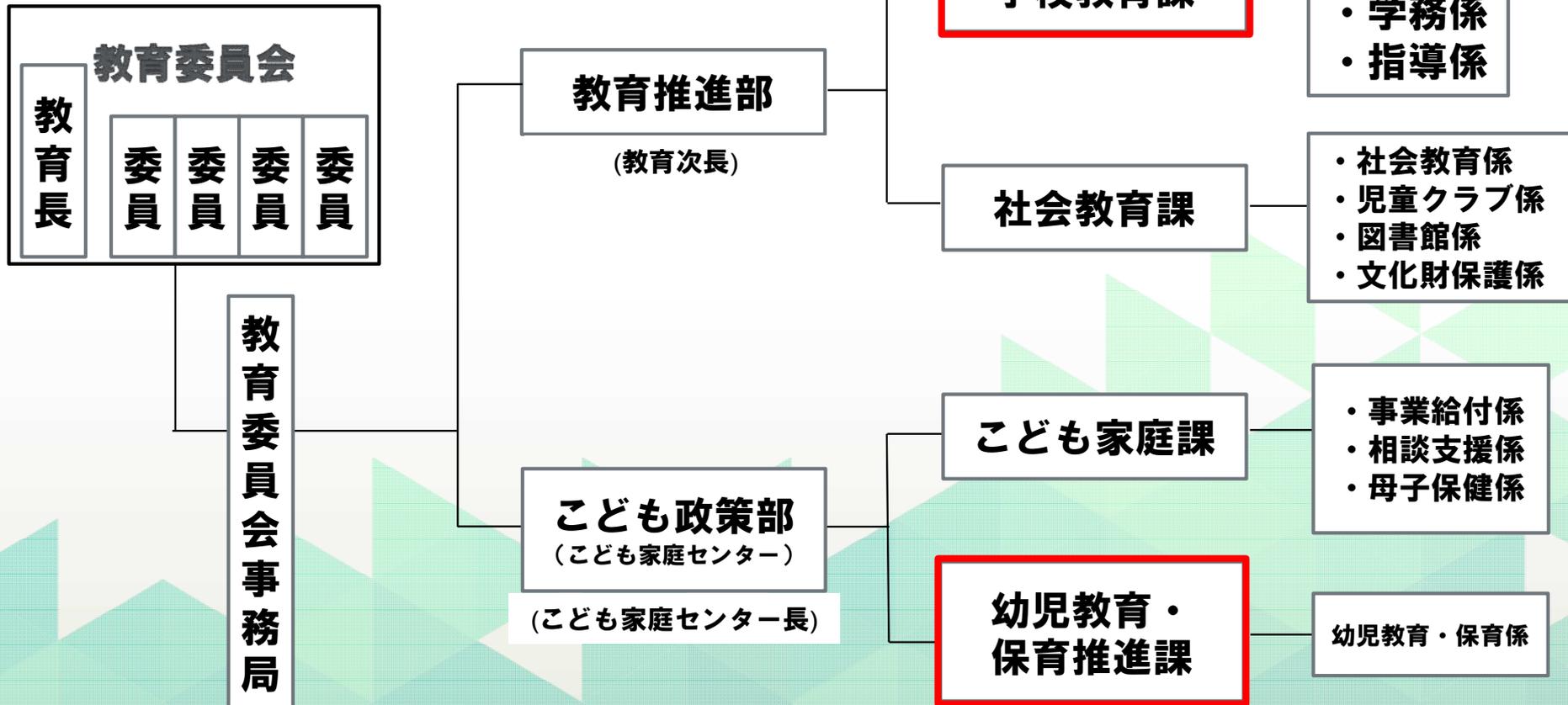
令和7年度第1回南丹市総合教育会議

(2) 南丹市乳幼児教育・保育の充実に向けた 組織改正の効果について



令和8年1月14日
幼児教育・保育推進課

南丹市教育委員会組織図(案)



教育・保育施設



他に...

- 聖家族幼稚園 (Holy Family Kindergarten)
- 南丹のぞみ園 (Nantan no Zomi Garden)

教育・保育施設

幼児教育・保育推進課

学校教育課

園部中学校

園部小学校

園部第二小学校

八木中学校

八木西小学校

八木東小学校

殿田中学校

殿田小学校

胡麻郷小学校

美山中学校

美山小学校

架け橋プログラム

園部幼稚園

園部保育所

城南保育所

八木中央幼児学園

八木東幼児学園

ひよしこども園

胡麻保育所

みやまこども園

他に...

聖家族幼稚園

南丹のぞみ園

「市町村のための架け橋期コーディネーター」設置事業の取り組み
（京都府・委託事業として2年間・1年目）
南丹市架け橋期コーディネーターとして

学校教育課

**幼稚園・小学校担当
指導主事の1名**

幼児教育・保育推進課

指導主事と主任の2名

計3名 配置

南丹市架け橋期コーディネーターとしての取り組みの内容

①

学校現場・保育現場の現状把握

- 保育所・幼稚園・こども園の保育視察
- 1年生の授業参観（新年度の園との連携時に同行）
- 現状と課題（それぞれの立場から）

②

校長会議・校園所長会議・園所長会議への発信

- 京都府幼児教育センターのリーフレット配布
- 市町村のための「架け橋期コーディネーター設置事業」の説明と概要図での目的や取り組みの方向性
- かけはし通信の発行
- 研修の案内等

③

研修の企画

- 管理職研修
- キーパーソンとなる補佐・係長等の育成
- 時間の作り方と工夫（できる限り、既存のものを活用）

府架け橋期コーディネーター

派遣研修活用

④

各保育現場での研修参加し、共に学ぶ

- 京都府架け橋期コーディネーター派遣研修の活用（＝園内研修）
- 南丹市保育所幼稚園職員研修（専任講師による保育現場での指導）
- 南丹市保育所幼稚園こども園幼児学園連絡協議会・研修
- 各保育所・幼稚園等の園内研修
- 各ブロック研修（全体研修、園部ブロック研修に参加）

⑤

市・架け橋期コーディネーター打ち合わせ会議

- 学校現場・保育現場の参観後等の所感の出し合い
- 課題の整理
- 具体化の整理（今後の進め方の検討、次年度の研修） 等

①保育現場の訪問



架け橋期
コーディネーター
訪問
(各園・所8ヶ所)

5・6・7月実施



教育長園訪問に同行
(各園・所8ヶ所)

①新1年生の授業参観（5～6月）



①学校現場・保育現場の現状把握



～保育所・幼稚園・こども園 の見学～

【大切だと感じたこと】

- ・こどもの育ちや興味関心に合った遊びの提供
- ・遊びの育ちや学びの発信
- ・こどもの主体性と捉え方
- ・保育の見取り方
- ・保育者の関わり仕掛け



～小学校の授業を参観～

【大切だと感じたこと】

- ・学びの楽しさ（1学期重要）
- ・園保小連携の在り方～従来の連携、これからの連携～
- ・体や心の育ち
- ・あそび心



**教育の質の向上に！
保育の質の向上に！つながる**

② 校長会議・校園所長会議・園所長会議への発信

* 京都府幼児教育センターリーフレットの配架

* 概要図の発信



幼児教育の質を高め、小学校の学びにつなぐ

京都府 幼児教育センター

幼児教育の質の向上のために

- 育ちと学びの連続性
- 主体的・対話的で深い学び
- 学びの連続性
- 学びのつながり
- 学びの質の向上

かけはし通信



令和7年9月10日 No.1

www.kyotofu.ed.go.jp

当市、架け橋期コーディネーター設置事業にかかり、ご理解とご協力いただきありがとうございます。5月下旬、保育所・幼稚園・こども園への訪問をし、こどもたちの「育ちからの学び」の姿を参観させていただきました。同席進行で、各小学校で行われた保護者懇話会での情報を参観させていただきました。新年生の学期、意欲的に授業に向かう姿を参観させていただきました。しすれお祝いし、ご対応いただきましたことと感謝いたします。

7月の校園所長会で、今年度刷新された京都府の幼児教育センターのリーフレットを配布させていただきました。各園・校内でご周知いただけますようお願いいたします。その内容は「架け橋期」の接続の在り方等についてご紹介しています。

8月22日・夏研修会では、京大教授・明和政子先生の脳の発達視点から乳幼児期の教育重要性のお話、こども期をどう過ごすか人生を大きく左右するというお話、そこにかかわる教師・保育者の果たす役割はとても重要であることをお話ししていただきました。

こどもを真ん中に置き、幼児教育における「遊びの中に行われる学び」と小学校教育での「幼児教育の連続性を意識した学び」を議論し、共に育ちたい保育・教育の充実へ向かえることを誓っています。

園・所・校の取組を終えて

- 【保育現場から感じたこと…】**
- ・一人の育ちや興味関心に応じて見返ることが重要である。こどもたちの「ワウワウ」から活動が始まる。
 - ・日々の子どもの丁寧に見取りからの活動を生み出す保育者の準備感や工夫が不可欠である。
 - ・こどもの遊びの姿を、「10の姿」や「3つの資質能力」で捉え、言語化や見える化を工夫し保育の発展についで充実を図ることが大切である。
 - ・小学校へ入るための準備期間という捉えだけではなく、遊びから学習に向かう姿勢（体幹・姿勢・意欲、集中力等）を幼児からどう育てていくのかという観点で、豊かな「遊び」を取り入れたい。
 - ・日々の研修の成果と経験の明確化に努め、園所全体での深まりが必要である。
- 【小学校現場から感じたこと…】**
- ・1年生の授業では、全体的に子どもたちが落ち着いて学習に向かう様子が見られた。
 - ・「遊びの要素」を取り入れれば工夫が凝り込まれた授業では、児童自身が意欲的に学習に向かう姿勢が実感できた。
 - ・1年生の学期がとても重要であることを再認識した。児童が「わかる」「わかる」「よ」によって学ぶ（話す・書く・考える）楽しさが大きく表れていた。
 - ・授業の中で毎々の児童が活躍したり、児童の成長を感じたりしてきている学習形態の工夫の大切さを感じた。
 - ・幼児期の「学びの基」は小学校へ小学校へつながり、伸ばしていくことが重要だ。生活力の授業もぜひ参観させていただきたい。



【今後に向けて…】

- ・保育現場は、市・園・校期コーディネーターを活用してください。一緒に保育を伝え、質の向上を目指しましょう。また、保育の言語化や見える化を工夫し保育現場に努めましょう。また、学びの成果を協議会と連携し、次の研修につなげていきたいと思います。
- ・従来の研修から一歩進み込んで、個別の課題に加え、保育・教育の連携を促しましょう。（保護者懇話会の充実）
- ・「スタートキプログラム」「アプローズキプログラム」の協働性を活用し、「架け橋プログラム」を所・園・校と共に充実させていきたいと思います。小学校と幼稚園の「遊びからの学び」「準備期間」での教育を取り入れた教育実践を進めていきたいと思います。
- ・各ブロック毎での園・所と小学校が、連携を共有し、今まで以上につながりやすい関係作りとなりまうように協力していきたいです。

* かけはし通信の発信

③研修会の企画

*1回目 12月8日(月) 学びの架け橋推進協議会・管理職研修会



*2回目 1月15日(木) 学びの架け橋推進協議会・教務主任・園長所長補佐研修会実施の予定

④各保育所・幼稚園・こども園での研修参加

京都府架け橋期コーディネーター派遣による園内研修



専任講師による南丹市保育所幼稚園職員研修

④南丹市教職員保育士研修会

園中ブロック夏季研修会



ブロック全体夏季研修会

園中ブロック研修会・桜ヶ丘中学校授業研修参加

④口丹私立幼稚園連盟の研修会



教育長自ら
講師となって
南丹市が進める教育
について講演

④南丹のぞみ園・園内研修会



南丹市保育所
幼稚園職員研修に参加

④ 近隣の市町との連携



かめおか乳幼児教育センター視察

南丹教育局・研修会（年間3～4回）

⑤担当者打ち合わせ会議

- * 保育現場や学校現場の実態を把握する
- * 学校現場のことや保育現場について、実態から課題を見出す
- * 具体化の整理と実行
 - どんな取り組みが必要か？...研修企画
 - アプローチの仕方...リーフレット
 - 概要図
 - かけはし通信
 - 研修会
 - 必要感をもって現場が進めていくには...
 - 次年度（2年目の取り組み）どうする 等

「こどもど真ん中」の保育・ 教育をこれからも実践